

農を変えたい! 参加申込書

東北集会 in あきた

このまま018-853-9021にFAXしてください。

●会場 集会・情報交換会・宿泊

ホテル サンルーラル大潟

秋田県南秋田郡大潟村北1-3 TEL 0185-45-3332

●分科会申し込み

2日目分科会 参加希望の番号を選んでください。

- ① 栽培技術 ② 消費者との交流 ③ 環境・新エネルギー ④ 原発と農業

●参加申し込み

この参加申込書に記入し郵送またはFAX後、事前に下記口座に必要な金額をお振込みください。

振込先

秋田銀行 土崎支店 普通預金 1105422
農を変えたい東北集会 実行委員会 代表 相馬喜久男
北都銀行 秋田北支店 普通預金 1137240
農を変えたい東北集会 実行委員会 代表 相馬喜久男

締め切り

2012年
1月15日

※参加される催しに○をつけ、送金額を記入してください。 ※分科会の番号をお書きください。

氏名	※参加する全員の氏名	全日程参加 15,000円	集会・情報交換会のみ 9,000円	集会のみ 3,000円	希望分科会	
					第1希望	第2希望
代表者					第1希望	第2希望
					第1希望	第2希望
					第1希望	第2希望
					第1希望	第2希望
					第1希望	第2希望
	参加人数	人	人	人	送金額	円
代表者住所 (〒)		TEL		FAX		
		所属団体 (もしあれば)				

●申し込み・問い合わせ 「農を変えたい! 東北集会 in あきた」実行委員会事務局

〒011-0945 秋田市土崎港西3-9-15 チャレンジオフィスあきた202号 NPO法人地産地消を進める会気付
電話・FAX: 018-853-9021 メール: chisan-akita@mail.goo.ne.jp

第7回

農を変えたい!

東北集会 in あきた

大震災・原発事故から東北農業の復興を考える
～東北農業の未来をみんなで考えよう!～

2012年 1月28日 13:00 ~ 29日 12:30
ホテル サンルーラル大潟 (秋田県南秋田郡大潟村北1-3)

1月28日

- 12:00 受付開始
13:00 開会のあいさつ、来賓のあいさつ、歓迎のあいさつ
13:40 基調講演 「国際情勢と農政問題をどう見るか」(仮題)
講師 鈴木宣弘氏 東京大学大学院農学生命科学研究科教授
15:20 大震災・原発事故からの東北農業の復興を考える
●被災地からの報告
●脱原発の東北像を描く 谷口吉光氏 秋田県立大学教授
16:50 秋田の若手農家のリレートーク
18:00 情報交換会
※情報交換会終了後に、青年農業者交流会、女性農業者交流会、大会宣言文起草委員会を開催します。

1月29日

- 08:30 受付開始
09:00 分科会
① 栽培技術 ② 消費者との交流
③ 環境・新エネルギー ④ 原発と農業
11:00 全体会 (分科会の報告、全体討論)
12:00 集会の総括
12:10 「農を変えたい! 東北からの宣言」(仮題)
12:30 閉会

※プログラムは変更になる可能性があります。

主催 「農を変えたい! 東北集会inあきた」実行委員会

共催 東北有機農業推進協議会、秋田県有機農業推進協議会、農を変えたい!全国運動、全国有機農業推進協議会、有機農業技術会議

後援 東北農政局、秋田県、秋田県立大学、大潟村 (予定)



農を変えたい!

東北集会 in あきた

開催の趣旨

2006年1月に山形県山形市で始まった「農を変えたい!東北集会」は、農家自身が主催する集会として、以来青森県を除く東北各県持ち回りで開催してきましたが、このたび「大震災・原発事故から東北農業の復興を考える」をテーマに、来年1月28～29日に秋田県大潟村で開催する運びとなりました。

今年3月11日に起こった東日本大震災・東京電力福島第一原発事故によって、東北太平洋沿岸地域はとてつもない被害を受けました。沿岸の農漁村をおそった大津波は世界最大の防波堤をも破壊し、2万人を超える人命が一瞬にして失われました。また、原発から飛散した大量の放射性物質は清純な東北の自然を穢し、地域循環型農業をめざしてきた多くの農家の生産基盤を決定的に破壊しました。多くの農家が農地を汚染され、将来の展望を持たぬ状況に追い込まれています。

この困難な状況にさらに追い打ちをかけるように、11月11日に野田首相がTPP（環太平洋戦略的経済連携協定）参加に関する事前協議を始めると宣言しました。2年前に政権を取った民主党が食料自給率向上や戸別所得補償制度などの政策を打ち出した時、私たちは日本農業の行く手に新しい展望が開けるかと希望を持ったこともありましたが、再び市場原理主義とグローバリズム経済推進の路線に戻ろうとしていると言わざるを得ません。このままでは食料自給率の急落はもとより、遺伝子組み換え食品の輸入自由化、食品安全基準の大幅緩和などによって、日本の農と食は取り返しがつかない状況に

陥る可能性があります。断固としてこの動きを阻止しなければなりません。

もともと東北地方は昔からの農家の暮らし、食文化、伝統芸能、村の心などが生き続ける地域です。東北の農業がダメになれば、豊かな自然環境、伝統文化、芸能、村のくらしなど農村地域全体が破壊されることにつながります。

しかし、私たちの足下を見ると、「自給を高め、安全な食と環境を守り育てる農業を作り出したい」という取り組みが着実に広がっているのも事実です。秋田県の「オーガニックフェスタinあきた」の成功をはじめ、多くの地域で有機農業、地産地消、環境再生や食育の動きがかつてない盛り上がりを見せています。また福島県では、有機農業によって放射性物質を土中に封じ込め、作物への移行をほぼ抑さえ込むことに成功した事例が出てきました。

私たちは、こうした農と食の再生を求める機運を踏まえて、大震災と原発事故の悲劇に見舞われた東北農業の復興を、農家、消費者、NPO、行政、研究者などと一緒に考えたいと思い、本集会を開催することにいたしました。栽培技術、消費者との交流、環境・新エネルギー、原発と農業などのテーマを参加者同士で語れる分科会を行うほか、青年農業者交流会や女性農業者交流会も開催いたします。立場を超えて幅広い方々にご賛同・ご参加をいただき、みんなで東北農業・農村の未来を語り合おうではありませんか。

会場案内図

ホテル サンルーラル大潟 (秋田県南秋田郡大潟村北1-3)

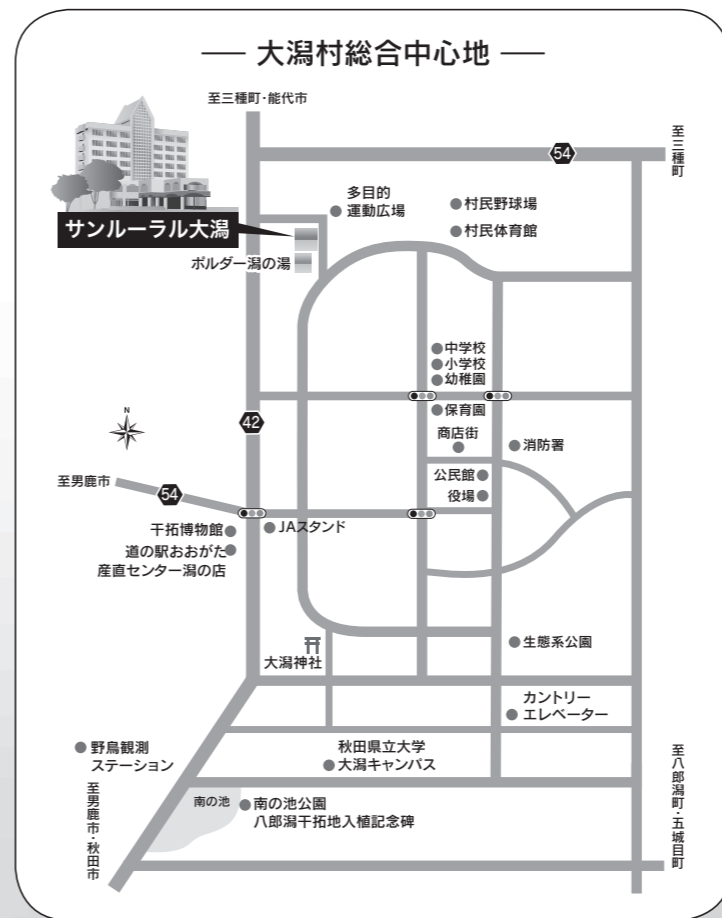
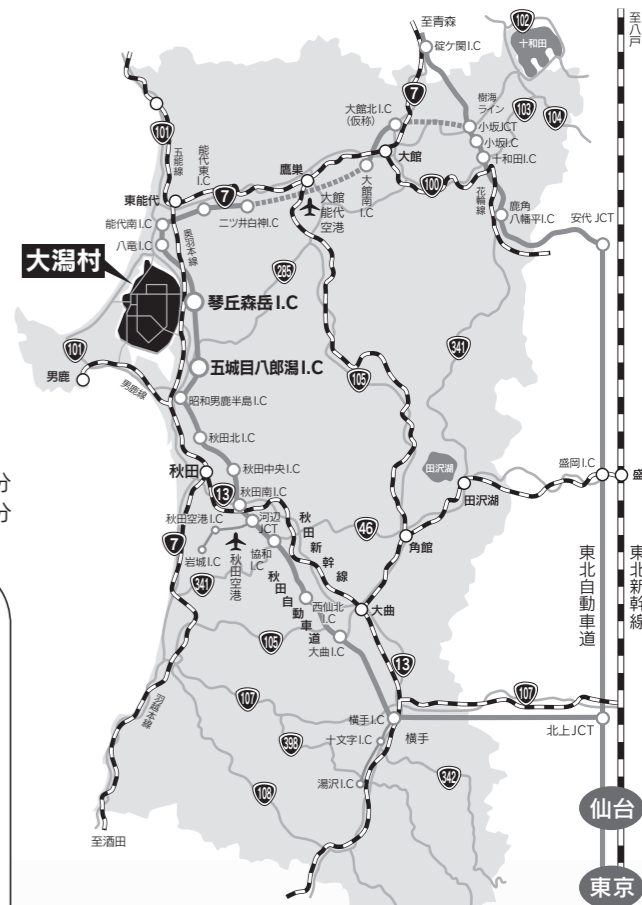
○交通のご案内

電車をご利用の場合

- 東京—秋田(最短3時間49分)
- JR奥羽本線
秋田駅—八郎潟駅(23分)

お車をご利用の場合

- 琴丘森岳I.Cから15分
- 五城目八郎潟I.Cから25分
- JR秋田駅から車で60分
- JR奥羽本線八郎潟駅から車で20分
- JR奥羽本線鹿渡駅から車で20分



- 実行委員長 相馬喜久男
(秋田県有機農業推進協議会／東北有機農業推進協議会)
- 副実行委員長 佐藤 誠
(大潟村有機農業推進協議会)
谷口 吉光
(秋田県立大学)

呼びかけ人

- 山形県／小林 亮 (山形県有機農業者協議会)、小関泰弘 (米沢地域有機農業者推進協議会)、村岡謙二 (置賜自然農業研究会)、菅原孝明 (三川地域有機農業推進協議会)、志藤正一 (鶴岡市有機農業推進協議会)、川俣義昭 (遊佐町有機農業推進協議会)、五十嵐良一 (庄内協同ファーム)、渡沢賢一 (山形おきたま産直センター)、相馬一広 (月山パイロットファーム)、菅

- 原専一 (みずほ生産者グループ)
- 秋田県／相馬喜久男 (秋田県有機農業推進協議会)、伊藤敏和 (秋田県有機農業推進協議会)、井上善蔵 (秋田県有機農業推進協議会)、佐藤 誠 (大潟村有機農業推進協議会)、佐藤雄己 (秋田県有機農業推進協議会)、豊下勝彦 (秋田県有機農業推進協議会)、大川 功 (生活協同組合コープあきた)、谷口吉光 (秋田県立大学)、酒井 徹 (秋田県立大学)

- 宮城県／本田 強 (環境保全米ネットワーク)、斉藤政憲 (みやぎ有機農業ネットワーク)、門傳 仁 (みやぎ有機農業ネットワーク)、大久保芳彦 (みやぎ有機農業ネットワーク)、千葉孝志 (みやぎ有機農業ネットワーク)、黒澤重雄 (みやぎ有機農業ネットワーク)、佐藤 茂 (みやぎ有機農業ネットワーク)
- 岩手県／加藤善正 (岩手県生活協同組合連合会)、入江 敦 (岩手有機農業研究会)、

- 真嶋 実、小島幸喜 (一関地方有機農業推進協議会・大東町有機農産物等生産組合)、福本 敏 (岩手有機農業研究会)
- 福島県／菅野正寿 (NPO法人福島県有機農業ネットワーク)、渡部よしの (NPO法人福島県有機農業ネットワーク)、杉内清繁 (NPO法人福島県有機農業ネットワーク)、齊藤 登 (NPO法人福島県有機農業ネットワーク)、長谷川浩 (東北農業研究センター)、浅見彰宏 (NPO法人福島県有機農業ネットワーク)、大平周一 (NPO法人福島県有機農業ネットワーク)、若松清一 (NPO法人福島県有機農業ネットワーク)、馬場 浩 (NPO法人福島県有機農業ネットワーク)
- 茨城県／中島紀一 (茨城大学)

(敬称略・順不同)
2011年12月6日現在